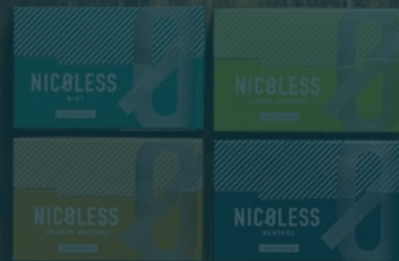


BOTANIST



2021年12月期第2四半期 決算説明資料



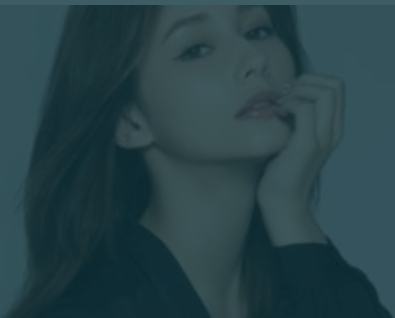
cimer

2021年8月12日



DROAS

CAROME.



INE

SALONIA

BEAUTY is simple



SALONIA

BOTANIST



目次

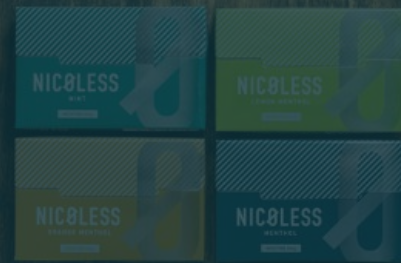
1. 連結業績ハイライト

2. 通期連結業績予想の修正

3. 今後の取り組み

4. Chain of Happiness

5. Appendix



CAROME.

INE

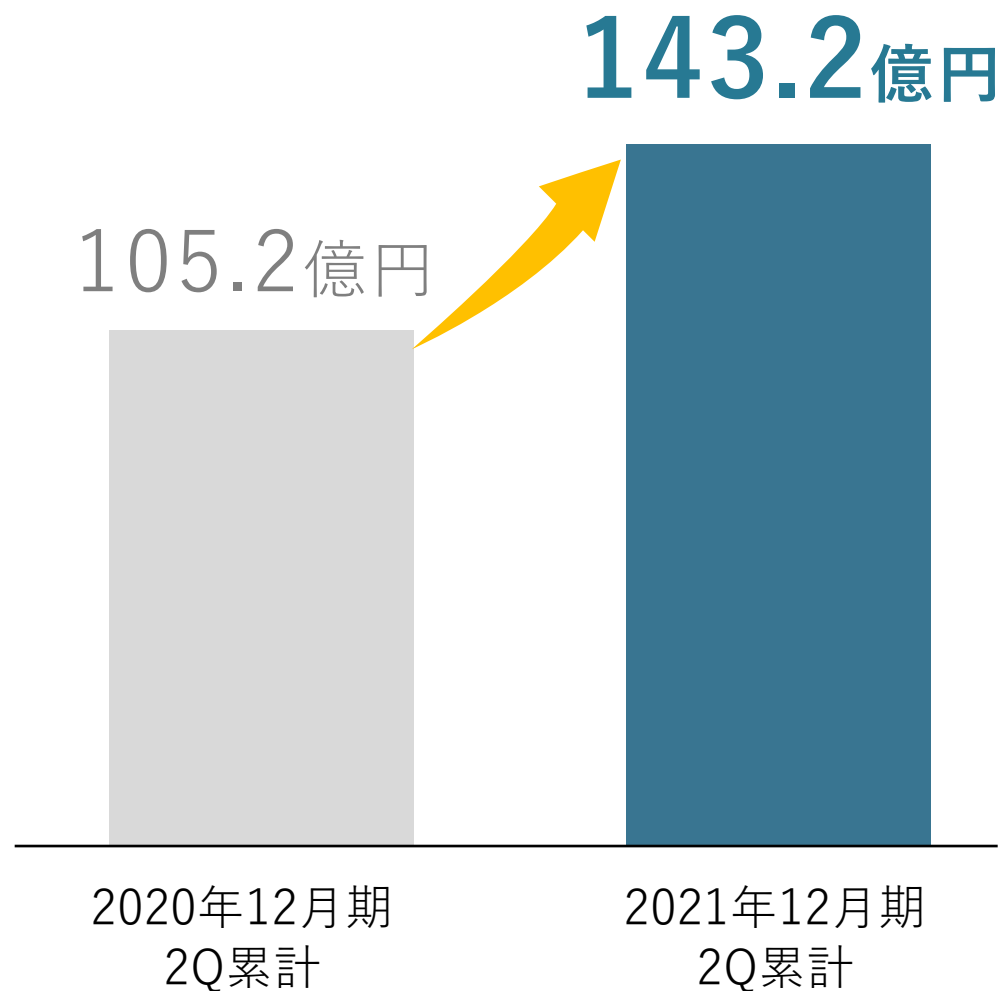
SALONIA
BEAUTY is simple

SALONIA

2Q累計連結売上高
前年同期比

+36.0%

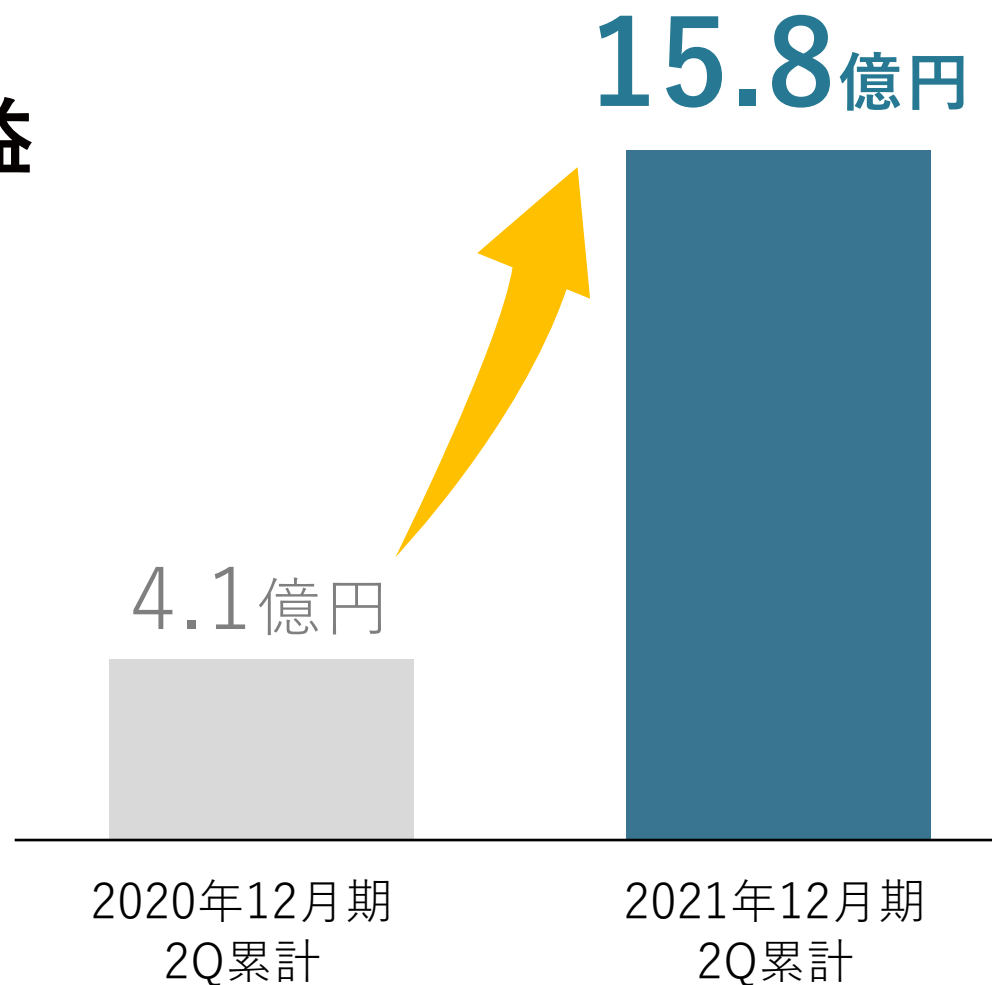
38.0億円増加と
過去最高を更新



2Q累計連結営業利益
前年同期比

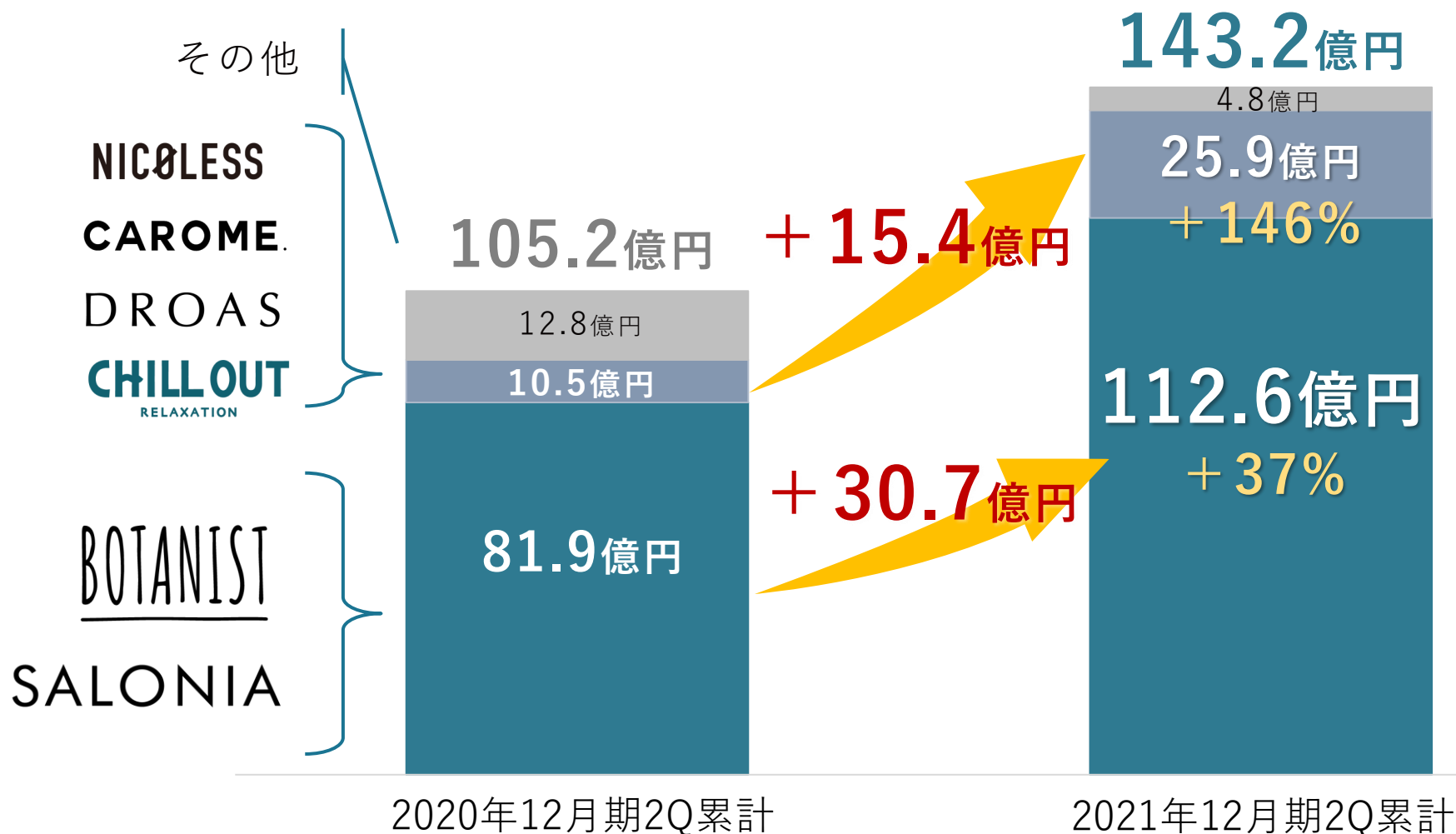
+283.1%

11.7億円増加と
過去最高を更新



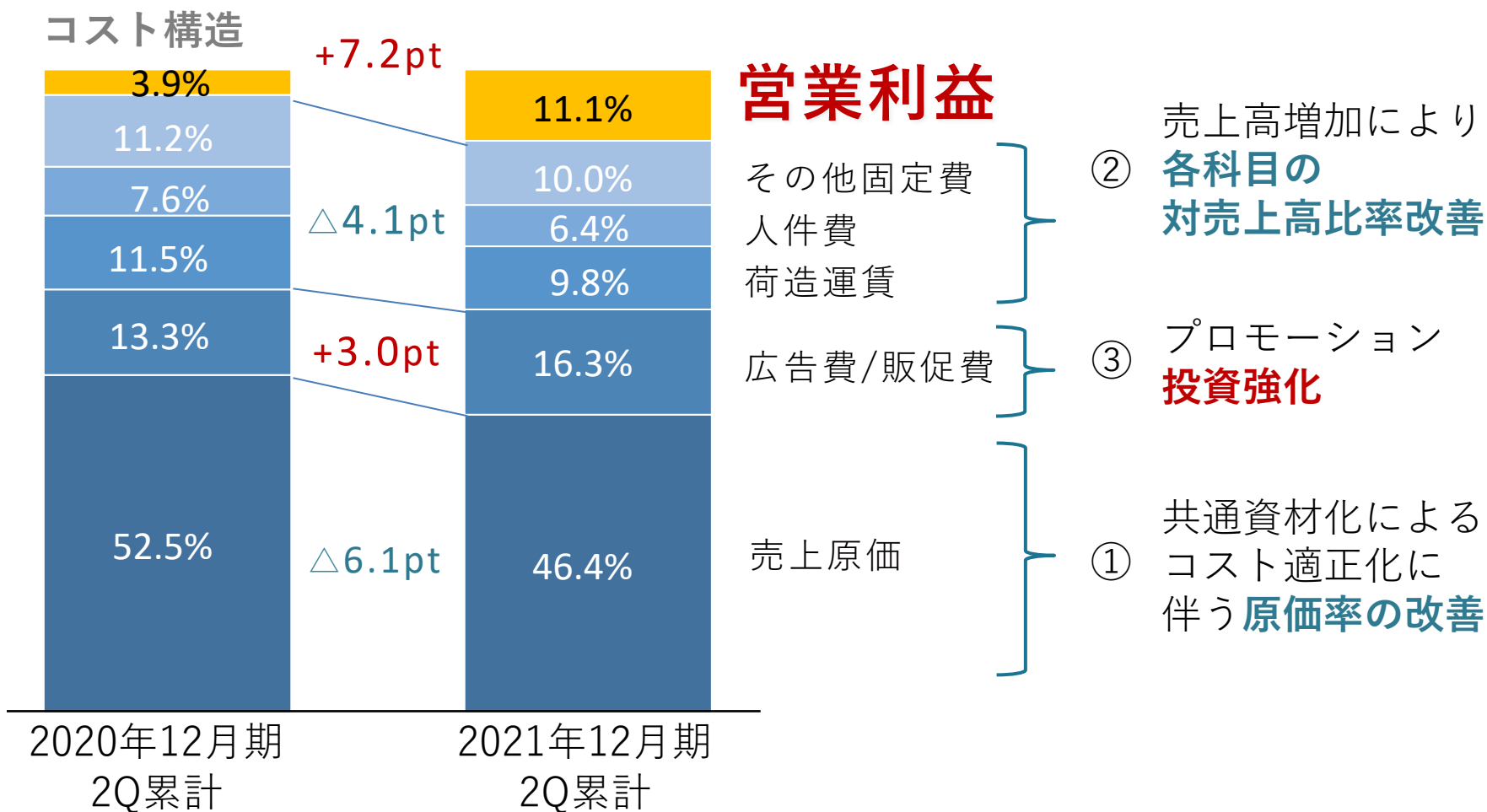
連結業績ハイライト：ブランド別売上高

主力ブランドが**+37%**、育成ブランドが**+146%**と大幅に成長。
再現性のあるブランド開発を通じて複数ブランドでの伸長を実現。



連結業績ハイライト：コスト構造

1Qに引き続き、売上高増加に伴い売上原価率が大幅に改善。
 営業利益を残しつつ広告費/販促費率を高め、
 マス広告などブランド認知拡大に向けたプロモーション投資を強化。



BOTANIST

植物と共に生きる



BOTANIST

リニューアルにより配荷店舗数が拡大し、
2021年2Q累計売上高72.6億円（前年同期比+32.3%）と大幅に伸長。

2021年2Q累計売上高

72.6億円

前年同期比 **+32.3%**

55.0億円

2020年12月期
2Q累計

2021年12月期
2Q累計

増加要因

- リニューアルに伴うアイテム別の配荷店舗数の拡大（各3,000～12,000店の増加）及び店頭販売施策の実施により販売拡大
- ボディケア、アウトバス領域での新商品発売及び配荷拡大に取り組む



A collection of black hair styling tools, including straighteners, curlers, and a blow dryer, arranged around the central text. The tools are shown in various orientations, some vertically and some horizontally, against a plain white background. The lighting is soft, creating subtle shadows.

SALONIA

BEAUTY is simple

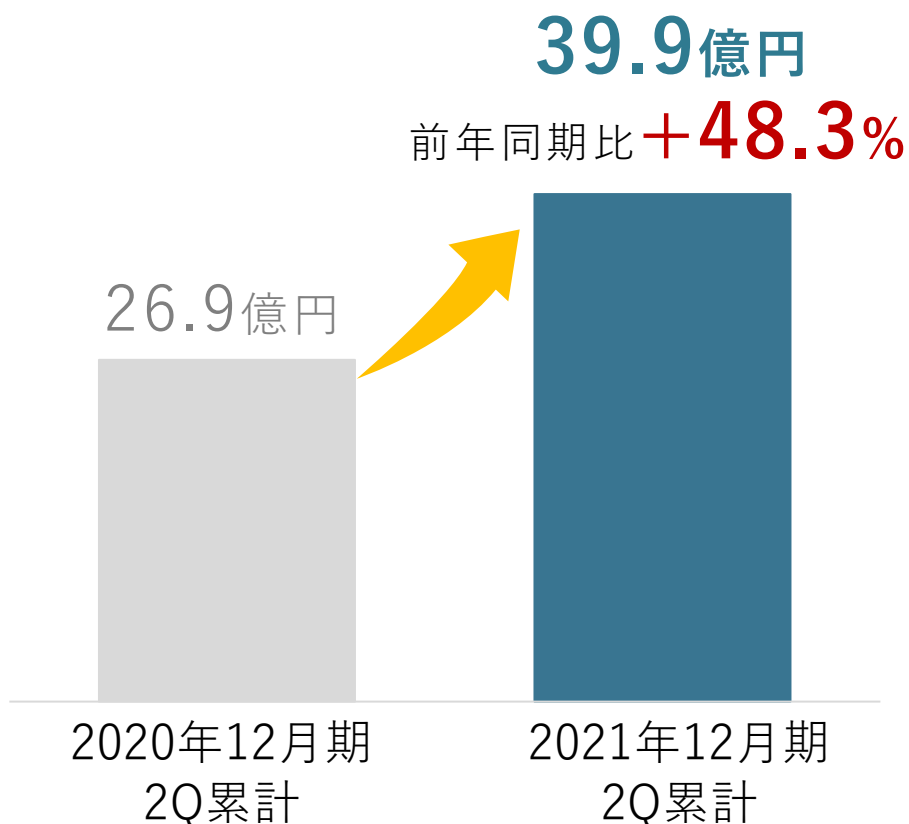
SA

- TURBO
- SET
- COOL
- OFF

SALONIA

ヘアアイロン及びヘアドライヤーの伸長から
2021年2Q累計売上高39.9億円（前年同期比+48.3%）と大幅に伸長。

2021年2Q累計売上高



増加要因

- ヘアアイロン及びヘアドライヤー等のアイテム別配荷拡大、販売店のPOS好調により販売伸長。
- ドライヤー等の春夏限定品発売による話題性を誘発し、店頭での露出増加
- 高価格帯商品のミストドライヤー発売



育成ブランド

各ブランドでの新商品の投入、認知及び配荷拡大の取り組みにより、2021年2Q累計売上高25.9億円（前年同期比+244%）と大幅に伸長。

2021年2Q累計売上高

NICØLESS
CAROME.
DROAS
CHILL OUT
RELAXATION

25.9億円

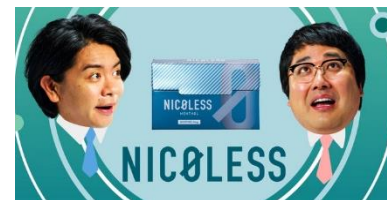
前年同期比 **+244%**

10.6億円

2020年12月期
2Q累計

2021年12月期
2Q累計

NICØLESS



- 1Qで実施したファミリーマートに加え2Qではローソン、デイリーヤマザキでの配荷を開始。
- 配荷拡大タイミングに合わせてTVCM放映

CAROME.



- 既存商品の配荷店拡大に取り組み、まつ毛美容液は約10,000店舗の拡大を実現。
- 新商品発売により販売伸長

育成ブランド

DROAS

- 新商品の拡充による売上高増加（新ヘアケアライン及びヘアマスク、ボディケア領域での商品販売）
- 配荷店舗数拡大（前年同期比+7,000店）

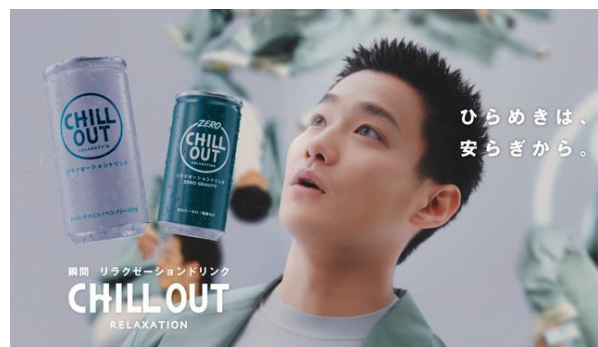


「ドロアス」シリーズ累計出荷本数
500万本

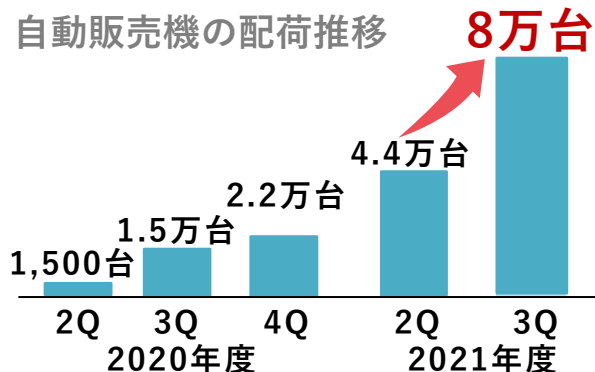


CHILLOUT

- 2Qに自動販売機を4.4万台に拡大。同時にTVCM放映等のプロモーション実施
- 新商品の発売（ゼログラビティ）
- 3Qより自動販売機8万台に拡大予定



市場規模
77万台(*1)



*1: 飲料総研による調査データより。コカ・コーラグループ保有台数（2019年末時点）

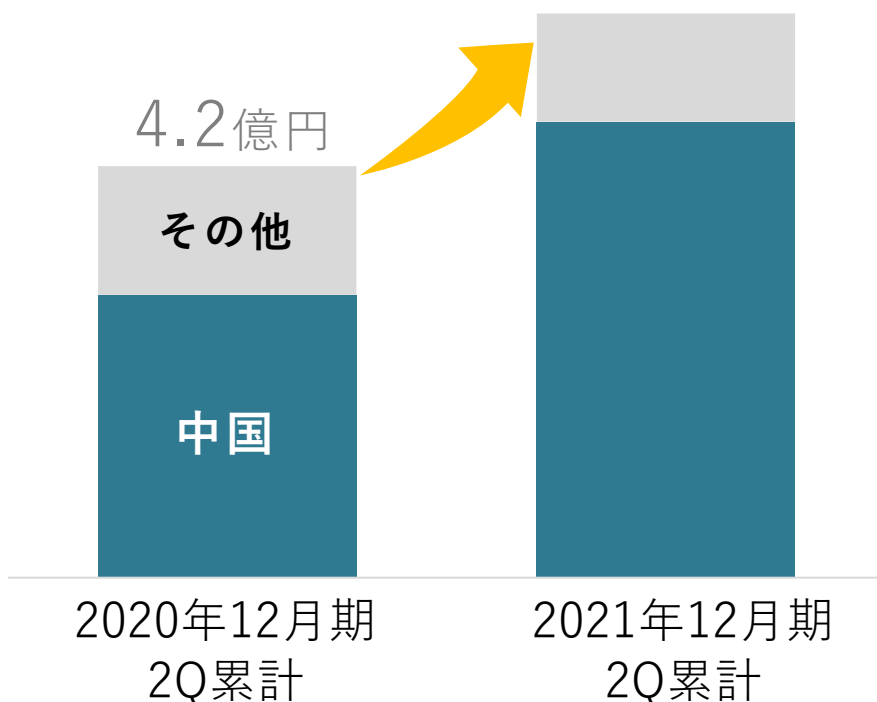
グローバル

中国でのオフラインチャネルに進出し、
2021年2Q累計売上高5.8億円（前年同期比+38.0%）と伸長。

2021年2Q累計海外事業売上高

5.8億円

前年同期比 **+38.0%**



2Qにおける取り組み

- ▶ 中国大手ドラッグストアチェーン Watsonsにて5月より販売開始。オフラインチャネル拡大に取り組む。
- ▶ 有名インフルエンサーと連動したプロモーションやTOPライバー起用によるライブコマース実施等により、オンラインチャネルの販売増加



2021年12月期2Q累計 総括



※矢印の角度：2021年度2Q累計での成長の方向性を表現

BOTANIST



目次

1. 連結業績ハイライト

2. 通期連結業績予想の修正

3. 今後の取り組み

4. Chain of Happiness

5. Appendix



CAROME.

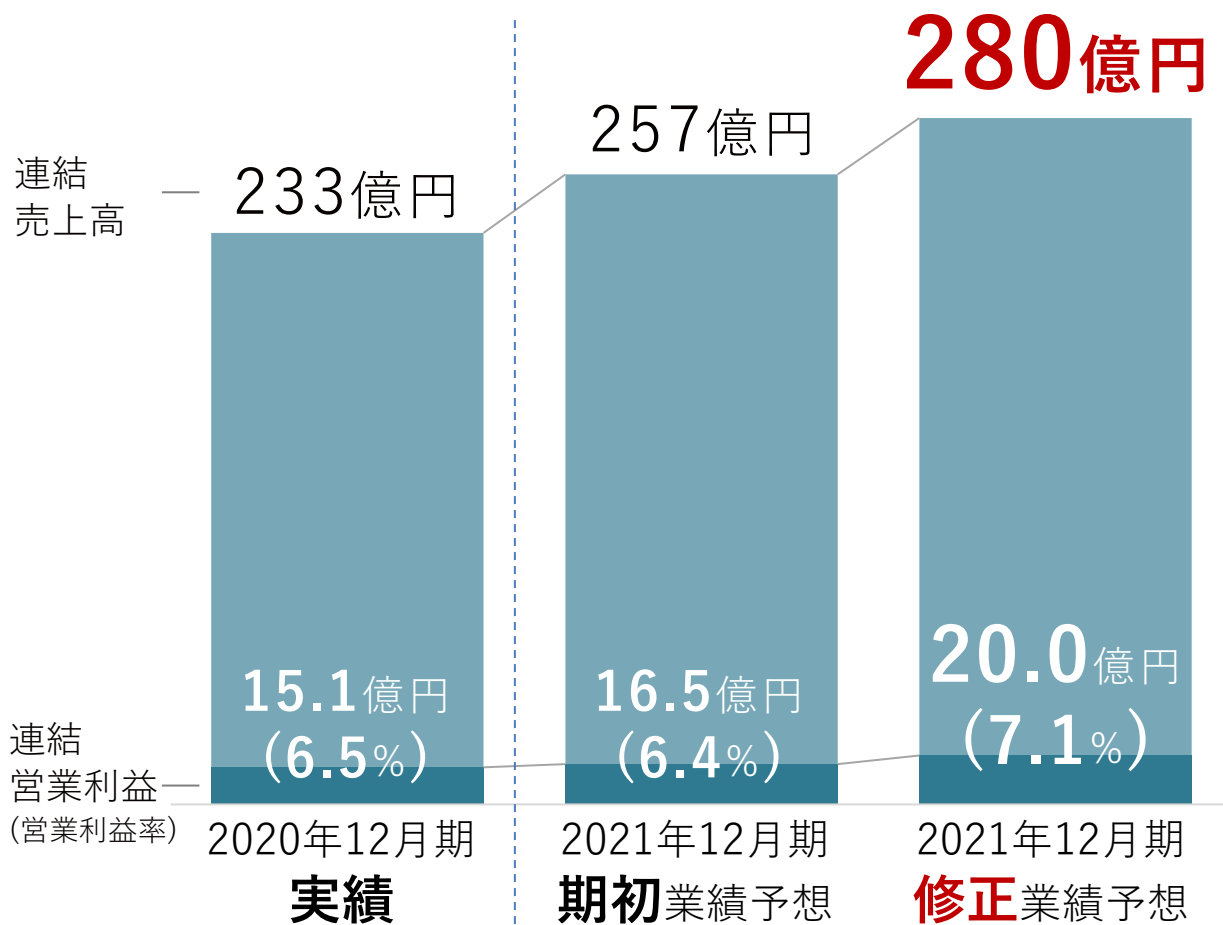
INE

SALONIA
BEAUTY is simple



通期連結業績予想の修正

主力ブランド及び育成ブランドの伸長により売上高及び営業利益が好調。追加的なプロモーション強化などを考慮し、業績予想を上方修正。



対前年

- 連結売上高
+46.3億円(+19.8%)
- 連結営業利益
+4.8億円(+32.2%)
- 営業利益率
+0.6pt

対期初業績予想

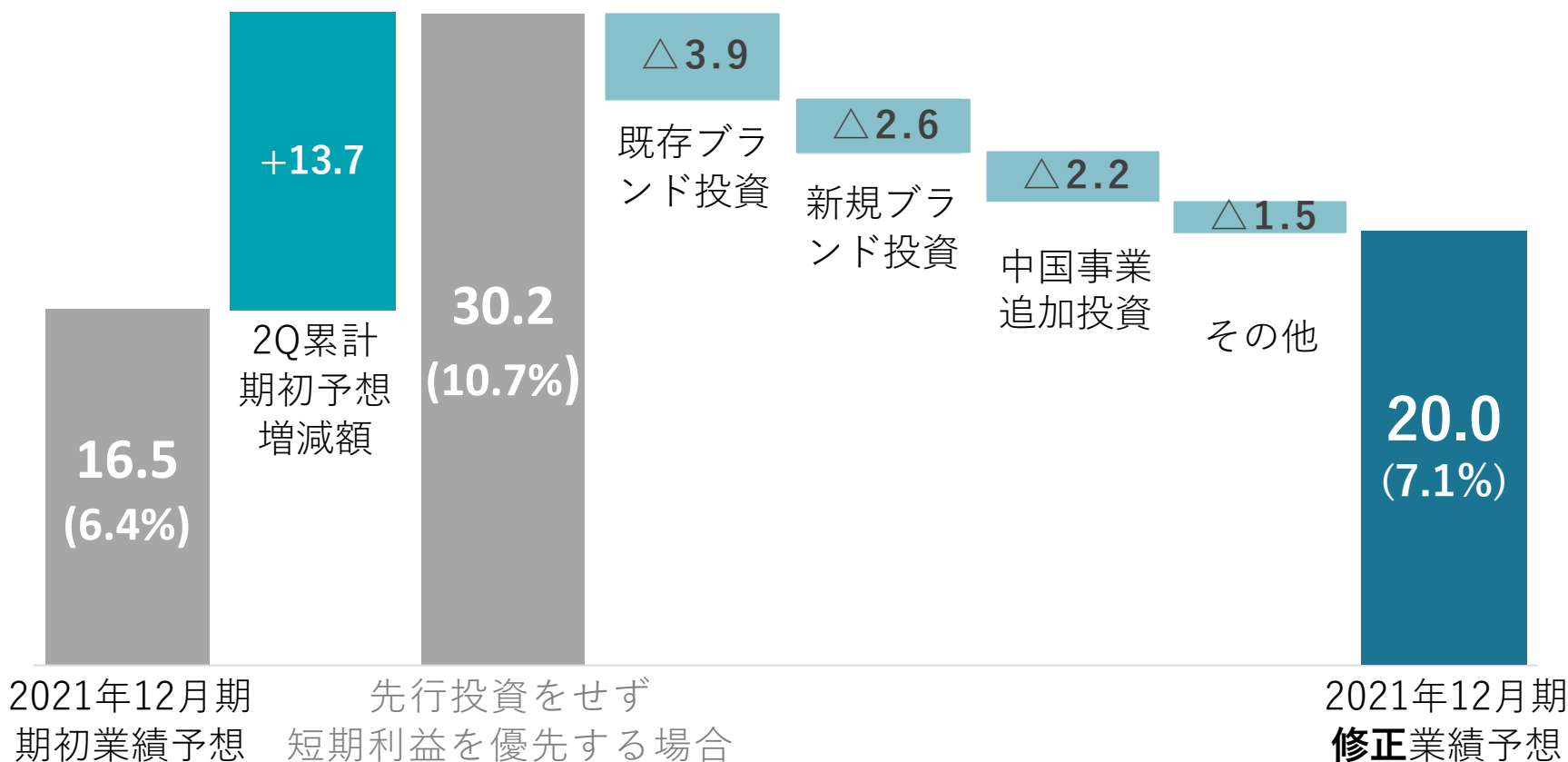
- 連結売上高
+23.0億円(+8.9%)
- 連結営業利益
+3.5億円(+21.2%)
- 営業利益率
+0.7pt

2021年12月期修正業績予想：連結営業利益

3Q以降は2Q時点での伸長を踏まえ、主力及びDROAS等の育成ブランドといった既存ブランドに加え、新規ブランドや中国事業等の中長期的な更なる拡大に向け追加投資を計画。

(億円)

3Q以降の期初業績予想比較△10.2億円



() : 営業利益率

BOTANIST

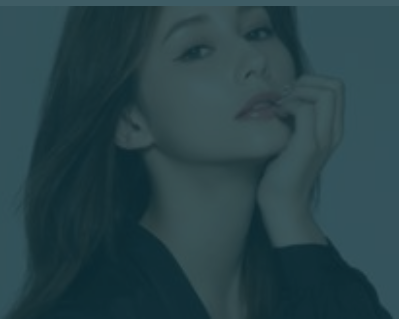


目次

1. 連結業績ハイライト
2. 通期連結業績予想の修正
3. 今後の取り組み
4. Chain of Happiness
5. Appendix



CAROME.



INE

SALONIA
BEAUTY is simple



SALONIA

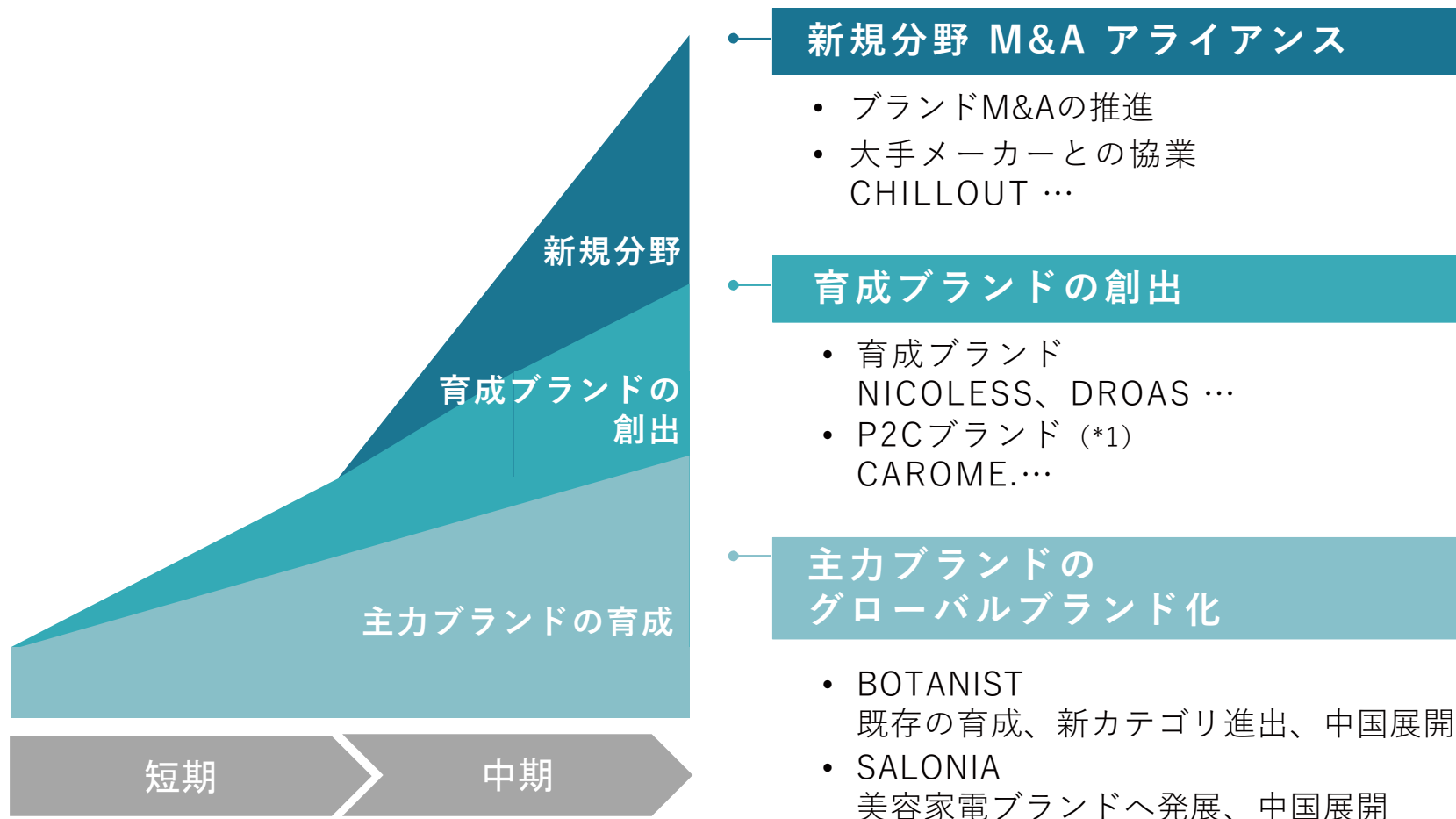
外部環境変化と事業機会

日本国内ではコロナ禍の影響が長期化しているが、当社では強みを生かしながら変化に対応し、成長継続に取り組む。

	外部環境	事業機会
日本	<ul style="list-style-type: none">• ECシフトが顕著に。 ドラッグストアは好調継続• 社会課題に対する意識の高まり	<ul style="list-style-type: none">● オンライン&オフラインの両方の強みを活かす● ブランドを通じた社会問題活動
中国	<ul style="list-style-type: none">• コロナ禍からの早期脱出• J-Beauty人気が続く重点市場	<ul style="list-style-type: none">● 日本発ブランドの中国オンライン&オフラインの本格展開
ヘア/ボディケア領域	<ul style="list-style-type: none">• おうち時間の増加• より個々人の嗜好にあった商品ニーズの高まり	<ul style="list-style-type: none">● プレミアムマス商品の拡販強化● 当社ブランド価値を訴求
メイク/スキンケア領域	<ul style="list-style-type: none">• マスク着用を前提としたメイク等のニーズ増加	<ul style="list-style-type: none">● アイメイクやリップティント商品の拡販強化
健康領域	<ul style="list-style-type: none">• 健康志向やリラクゼーションニーズがさらに高まる	<ul style="list-style-type: none">● 健康ニーズにマッチするアイテムの拡販強化● TVCMによる顧客接点の増加

今後の成長戦略

主力ブランドの拡大と、新規領域・新規ブランドでの収益を拡大。
Beauty領域において、世界規模で技術革新をリードする存在を目指す。

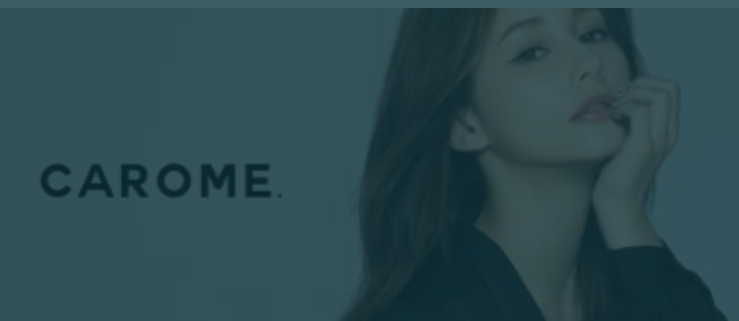


BOTANIST



目次

1. 連結業績ハイライト
2. 通期連結業績予想の修正
3. 今後の取り組み
4. Chain of Happiness
5. Appendix



INE

SALONIA
BEAUTY is simple

CAROME.

FOR A SUSTAINABLE FUTURE

当社ミッションの実現に向け、BOTANISTなど各ブランドの事業活動を通じて多様な環境・社会課題解決に向けた取り組みを追求。



FOR A
SUSTAINABLE
FUTURE
BOTANIST



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



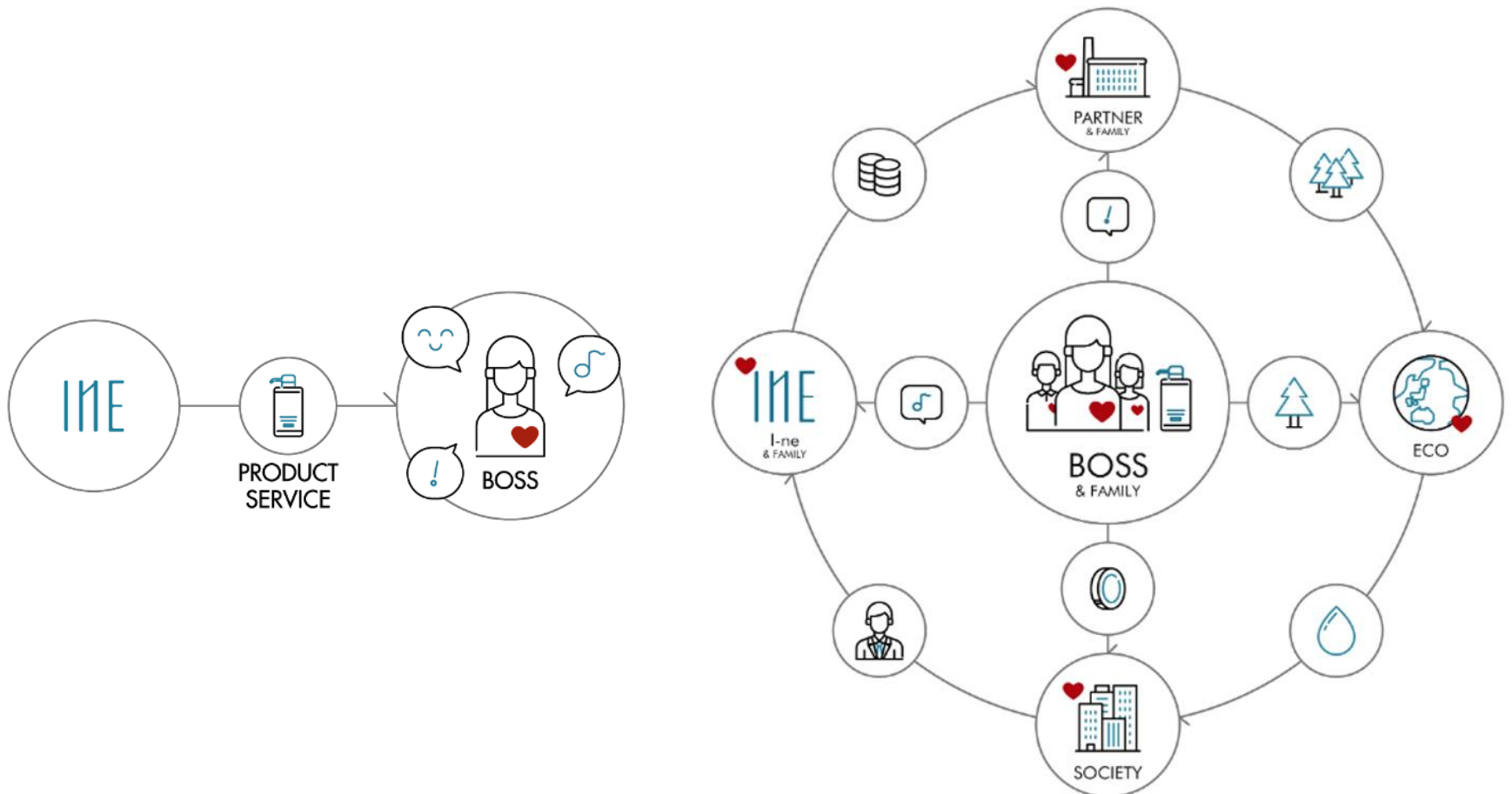
15 陸の豊かさ
を守ろう



OUR MISSION

Chain of Happiness

～商品を通じて、世界中を幸せにする～



BOTANIST

目次

1. 連結業績ハイライト

2. 通期連結業績予想の修正

3. 今後の取り組み

4. Chain of Happiness

5. Appendix

CAROME.

INE

SALONIA
BEAUTY is simple

SALONIA

連結損益計算書

[百万円]	2020年12月期 2Q累計		2021年12月期 2Q累計		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	10,527	100.0%	14,322	100.0%	+3,795	+36.1%
売上原価	5,527	52.5%	6,640	46.4%	+1,113	+20.1%
返品調整引当金戻入額 及び繰入額	15	0.1%	51	0.4%	+36	+240.0%
販売費及び一般管理費	4,569	43.4%	6,042	42.2%	+1,473	+32.2%
営業利益	414	3.9%	1,588	11.1%	+1,174	+283.6%
経常利益	369	3.5%	1,562	10.9%	+1,193	+323.3%
税金等調整前四半期純利益	369	3.5%	1,561	10.9%	+1,192	+323.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	251	2.4%	906	6.3%	+655	+261.0%
1株当たり四半期純利益	34円22銭		104円58銭		+70円36銭	

連結貸借対照表

[百万円]		2020年12月期		2021年12月期 2Q		対前期末	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	12,408	94.2%	12,786	94.2%	+378	+3.0%
	固定資産	756	5.7%	778	5.7%	+22	+2.9%
資産合計		13,165	100.0%	13,565	100.0%	+400	+3.0%
	流動負債	5,152	39.1%	4,909	36.1%	△243	△4.7%
	固定負債	1,073	8.2%	586	4.3%	△487	△45.4%
負債合計		6,225	47.3%	5,496	40.5%	△729	△11.7%
純資産合計		6,939	52.7%	8,068	59.4%	+1,129	+16.3%
負債純資産合計		13,165	100.0%	13,565	100.0%	+400	+3.0%

通期連結業績予想の修正

主力ブランド及び育成ブランドの伸長により売上高及び営業利益が好調。追加的なプロモーション強化などを考慮し、業績予想を修正。

(百万円)	2020年通期 (実績)	2021年通期 (期初予想)	2021年通期 (修正予想)	対前年 増減額	対前年 増減比	対期初予 想増減額	対期初予 想増減率
売上高	23,363	25,700	28,000	+4,637	+19.8%	+2,300	+8.9%
営業利益	1,512	1,650	2,000	+488	+32.2%	+350	+21.2%
営業利益率	6.5%	6.4%	7.1%	+0.6%	-	+0.7%	-
経常利益	1,389	1,600	1,900	+511	+36.7%	+300	+18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	905	920	1,050	+145	+16.0%	+130	+14.1%
1株当たり 当期純利益(円)	123.20	106.54	120.60	-	-	-	-

本資料に係る免責事項

本資料は、情報の開示のみを目的として当社が作成したものであり、米国、日本国またはそれ以外の一切の法域における有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。本資料に記載された記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、「将来予想に関する記述」に該当します。将来予想に関する記述には、「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みますが、これらに限りません。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。当社は、本資料の日付後において、将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。